



日野原重明記念

「新老人の会」東京 会報

Keep on going!

Vol.1/No.2

2019.7

鈍行余生に思う

日野原重明記念「新老人の会」東京顧問 早乙女勝元

私どもも民立民営のミュージアム（「東京大空襲・戦災資料センター」江東区北砂）に、日野原先生がお目見えになったのは、一昔前のことだが、忘れられないのは、先生が二階の会議室へ、階段使用を選ばれたことだ。エレベーターを案内するに「いやいや」と軽く手を振った先生は、お元気そのものだった。

これは見習うべきだと、痛感させられた。こちらは先生の没年齢までまだまだ二十年もあるぞと、うれしくなったものである。

しかし、その私もいつのまにか、八十代の下り坂となり、駅の階段など、足元がおぼつかなくなってきた。老人の二人に一人はかかるという病気の進行具合も、定期的に血液検査を受けている。その他、目も耳もおかしくなってきた。

つい先頃は、バスに乗ろうとして、走って転倒し、その衝撃でしばらくは起き上がれなかった。危ないところだった。親しかった作曲家の林光氏は、ほぼ同年齢だったが、転倒の打ちどころが悪くて急逝している。私も脳に出血はないかとCTを撮ったが、異常なしでほっとした。

その時の主治医いわく、「高齢になると、病気の進行もごゆっくりになるものですよ。そう、鈍行かな。それよりも転んで寝たきりになるのを注意して下さい。待ったがききませんか。」「はあ、なるほど。鈍行人生ですね。」

私は、神妙にうなずいたものである。以来、駅の階段は極力手すりに片手をかけて、一歩ずつを確かめていく。見栄えはよくないが、仕方あるまい。講演を座ってやるようになった。

まだまだ、やるべきことがある。言論人のはしくれ



早乙女勝元 先生
1932年東京生まれ。作家であり、平和活動家。底辺の青春をテーマにした作品が次々と映画化される。1970年に「東京空襲を記録する会」を結成。2002年3月、民立民営の東京大空襲・戦災資料センター開設。館長に就任。本年6月退任。

日野原重明記念「新老人の会」東京 発足記念フォーラム

六月二日(日)、ホテル・ルポール麹町に於いて、約三百人の参加者と、顧問の湯川れい子さん、家森幸男さん、川越厚さん、香山リカさん、日野原眞紀さんが列席し賑やかに開催されました。



日野原眞紀さん

当日のプログラム

司会・進行 本田愛子（世話人）

- ・宮川ユリ子とマハロ・フラサークル
- ・「新老人の会」東京の発足にあたって 石清水由紀子（世話人代表）
- ・「お祝いのメッセージ」 日野原眞紀（顧問）

【第一部】

- ・講演 「私の健康法」 「毎日が新しい一日のはじまり」

湯川れい子先生（音楽評論家・作詞家）

【第二部】

- ・「いのちの授業」を引き継いで 藤原妙子（世話人）
- ・朗読「歌われたのは軍歌ではなく心の歌」より 小泉靖子（世話人）
- ・合唱「ふるさと」 伴奏・吉村由佳里&会員有志
- ・閉会のあいさつ 本多正之（世話人）

開幕

「宮川ユリ子とマハロ・フラサークル」

二〇〇四年、日野原先生の強いお勤めにより宮川ユリ子さんご指導のもと「新老人の会」サークル活動として発足。日野原先生が作詞された「待ち望む平和の島」の曲に合わせ踊るのは、前列に雪組（平均年齢八十三歳）、後列に花組（平均年齢八十三歳）計十一人の皆さん。平和への祈りとともにフォーラムは開幕しました。



日野原重明記念「新老人の会」東京 発足記念フォーラム
第一部 湯川れい子先生の講演
私の健康法「毎日が新しい一日のはじまり」

日野原重明記念「新老人の会」東京の発足、お祝い申し上げます。
 私は音楽療法を通して日野原先生と交流を持ってから、三十年くらいになりました。音楽を仕事としてからは五十九年、その間「音楽って何だろう?」と考え続けてきました。今日は、そんな私の生き方から、何か持ち帰っていただけたらと思います。

平和について
 私が小学校四年生のときに戦争が終わりました。父は海軍の軍人で、戦争末期の作戦本部で過酷な勤務中に感染症にかかり三日で亡くなってしまいました。長兄は徴兵され、戦争があと四カ月で終わるといふときに、フィリピンの村を死守せよと命令されて山中で戦死。戦時中はこんな理不尽な死がまかり通っていたのです。そして一度起こってしまった戦争は誰も責任をとりません。
 戦争をしないということが政治の仕事です。外交でやっていくしかないのです。私は終活として、「戦争をしない」ということを言い続けていきますが、「憲法九条を守らなければ」と言いますと、ツイッターで随分と攻撃されます。でも「憲法九条は世界の宝」だと思っています。そ

して、一人ひとりが平和を望まない限り平和は訪れないのです。
音楽について
 初めに申し上げましたが「音」って何だろうといつも考えます。日本には除夜の鐘、四国お遍路さんの鈴の音がありませんが、外国にも米国やスイスの教会の鐘など、どこにも鐘の音があります。これはチベットで買った鈴というカベルですが、これを買っていた僧が「音が見えるでしょう?」といいました。この音が邪悪なものを寄せつけず浄化してくれるというのです。音は宇宙創生のときからあったはず。すべてのものが振動して音が共鳴してきたのだと思います。自然の中には音があふれています。「音」って何でしょうか。そして音楽はどんな歴史を繋いできたのでしょうか?
人生で一番幸せを感じたとき
 私は一九七二年にサンフランシスコで音楽療法に出会って、音楽がもつ力に魅了されました。それよりも前から、音楽



が好きで聴きはじめて、良いと思った音楽は皆さんにも聴いてほしくて紹介しているうちに五十九年の歳月が過ぎました。が、なんと幸せなことかと思っっています。皆さんは、ご自分の中で一番幸せだと感じたときのことを覚えていますか? 私は、インドのブツダガヤ(世界遺産)を訪れて、お釈迦様が腰かけて教えを説いたという霊鷲山りよじゅせんの岩に腰をかけた、二五〇〇年前にお釈迦様が頬に受けたであろう気持ちのよい風を感じた時。一〇〇年前でもなく、今、こうしてここに生きてきたからこそ、こんな幸せを受け取ることができのだと思うと、涙がとめどなく溢れて「人生で無駄なことは何ひとつ無い」と知りました。つらいときには、この時のことを思い出します。そうすると、怖いものが何もなくなります。

いのち
 人は六十兆のDNAを受け継いで何万年も一生懸命に生きてきました。そのDNAが時を越えて流れている「いのち」なのです。どんな理由があっても人間がこのいのちを奪うようなことは許されなことです。これは宗教とか政治とかではありません。一人ひとりのいのちを守って、いこうと願う、そこにしか人類共通の幸せを語るものではありません。
 もう五十年くらいになります。原子力平和利用委員会のメンバーでした。多くは専門家でしたが、素人の私は必死に

なって勉強しました。地震大国の日本に原発があつてはいけない。何とかしなければいけない。戦争もそうです。口に出して、行動に移していかなければならぬといふ心から思います。
 今日は皆さんに、そのことを音の力、ごことだまごことだまにかえて持ち帰っていただきたいと思います。ありがとうございます。
 (石清水由紀子)



家森幸男先生から花束とお礼の言葉を

- 2019年 年間活動計画**
- フォーラム 発足記念 6月2日(日)(終了)
 - 健康講座 9月~11月
 - 会員の集い 2月・4月・6月・9月・11月の第3水曜日
 - 社会貢献活動「いのちの授業」不定期で活動中
 - 社会貢献活動「患者ボランティア」研修会 8月7日・9月25日・10月23日
 - 会報の発行 4月・7月・10月・12月
 - 歴史探訪・野外散策 未定
 - 見学・観劇・美術館・音楽鑑賞 未定
 - 他会との交流・バスツアー
 - 5月27日~28日 S S A 親睦バス旅行(終了)
 - 10月13日 日野原重明記念新老人「滋養の会」フォーラム
 - 11月6日 世界健康フォーラム
 - 各種サークル活動 毎月

第二部

「いのちの授業」を引き継いで

藤原妙子

藤原さんは昨年、日野原先生の志を継ぎ、教職の経験を活かし独自の「いのちの授業」を展開し、その活動はすでに四十一回に及んでいます。映像を使って、ご自身の日野原先生との出会い、聴診器を使い心臓の鼓動を聞く子どもがいきいきとした笑顔、日野原先生著『しかえししないよ』を使った授業などを紹介しました。この映像は、きつと会場の皆さんの胸を打ったことでしょう。特に、

昨今の家族や子どもを巻き込んだ諸々の事件・事故を思うと、日野原先生の教えの重要性を痛感します。藤原さんは、今後も活動を続ける決意を話されました。



朗読「歌われたのは軍歌ではなく心の歌」より

朗読 小泉靖子

ナレーション朗読 坂本有子

「新老人の会」では、二〇〇一年から五年間に四冊の、会員の戦争体験記を出版。全巻で一五五編の貴重な証言は、各会員の「次世代に戦争の実態を伝えなければならぬ」という強い使命感に満ち

溢れています。その中から、坂本有子さんの凛としたナレーションで始



朗読 小泉靖子

まったのは清水照子さん（長野県）の『無言の再会』。小泉靖子さんの哀愁に満ちた味わい深い朗読の声は、静まり返った会場の隅々にまで染み渡り、涙を拭う方々や、鼻をすする音が、あちこちで聞かれました。

（世話人 本多正之）

フィナーレ

「ふるさと」合唱 会員有志によるアンクルン演奏とともに

「ふるさと」合唱の伴奏にと、会員有志がアンクルンの練習を始めたのは四月十日。全員がほぼ初心者。六回の練習日も全員集合は不可能でしたが、指揮者の吉村さんがエレクトーンを使用しオーケストラ風に編曲した音源と動画を共有、皆で練習に励みました。ぶっつけ本番の音響、初めての全員揃っての演奏に緊張しましたが、吉村さんの指揮が日野原先生の姿と重なり、会場は温かな歌声でひとつに。「創める」ことの意義を実感する幸せな時間となりました。



（世話人 荻沼清子）

参加者の感想は次号に掲載予定です。

報告 「新老人の会」東京患者ボランティアの会

新しく「患者ボランティアの会」を立ち上げました。模擬患者のような難しいシナリオなどがなく、簡単な講習を受け、素直な一般市民としての声を医療従事者教育に届けることが目的です。第一回の講習が五月十五日(水)に行われ八名の方が登録、早速五月三十日、六月六日には東京医科大学医学部一年生の早期臨床実習に二回で延べ十二名が参加しました。実習は「エスコート実習」。患者ボランティアの役割は実際に車いすに乗り、動かしてもらい、乗り心地はどうであったかなど素直な感想を学生に伝えることです。「車椅子から降りるとき、ブレーキをかけずにフットレストを動かしたので、車椅子が揺れて怖かった」など具体的な感想を学生に伝えていました。最初は緊張していたボランティアさんたちも学生の前では満面の笑顔になられたのがとても印象的でした。「学生と接することと学ぶことの大切さを感じました」と感想を述べられた方もいました。ボランティアは参加することでたくさん学びを自らが得られるものと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

（福井みどり）



（福井みどり）

サークル一覧

*初めてご参加される方はお問い合わせください。TEL (03) 3265-1907

サークル名	会場	開催日	時間
源氏物語講読会		第2木曜日	13:20~14:50
自分史	進興ビル2F 会議室	第2火曜日	13:30~15:00
勉強会「経済的自立」		第4火曜日	13:30~15:00
丹田		第2・4火曜日	11:00~12:30
オリンピックで民間外交	通常どおり	第1・3月曜日	14:00~15:30
いきいき健康体操		第1・3火曜日	10:15~12:00
さっそうクラブ	原則として	第1・3火曜日	13:30~15:30
コーラス	トイスターホール	月1~2回月曜日	10:00~11:30

サークル名	会場	開催日	時間
SP式ソフトボール	根岸線本郷台	水曜日	10:00~13:00
詩吟の会	向丘地域活動センター	第1・3金曜日	13:30~
初級英語 使える基礎再発見	港区生涯学習センター	第1・3水曜日	10:30~12:00
中級英語 会話力の再起動	港区生涯学習センター	第2・4火曜日	13:30~15:00
フラダンス	自由が丘スタジオ他	月・木曜日	通常どおり
何でも話そう 日曜昼食会	有楽町プレスクラブ	第4日曜日	11:30~14:00
ハンドベル	用賀教会	第2・4金曜日	13:30~
吹矢	錦糸町・本部	第2・4金曜日	12:45~
大人のアート	未定		
初めての俳句	武蔵野プレイス3F	第3火曜日	13:30~
iPad交流会	武蔵野プレイス4F	第1金曜日	13:30~

告知

日野原重明記念新老人「滋賀の会」フォーラム

日野原重明メモリアルルーム公開記念講演会

～いきいきと生きる～

日野原重明先生に学ぶ 生き方上手を!

日時 令和元年 10月13日(日)

12:30開場 13:15~16:00

場所 湖邸滋びわこクラブ

滋賀県大津市北小松20-8 TEL.077-596-1211

参加費 1,000円



武庫川学院創立80周年記念

第40回記念 世界健康フォーラム2019・東京

「人生100歳時代の生き方上手」-日本から世界への発信-

日時: 2019年11月6日(水) 13:00 ~ 16:45 (開場12:00)

会場: よみうりホール (東京都千代田区有楽町1丁目11 読売会館7階)

会費: 3,500円 (団体割引: 30名以上の場合1名3,000円)

一般財団法人ライフ・プランニング・センター主催 「日野原重明先生記念会」

日野原先生よりうけ継ぐメッセージ「いのちの終わりにアートと微笑みを」

日時: 2019年9月28日(土) 13:30 ~ 16:15 (開場 13:00)

会場: 聖路加国際大学 大村進・美枝聖路加臨床学術センター日野原記念ホール

参加費: 一般1,000円 (日野原記念友の会会員と LPCボランティア無料)

申し込み: TEL 03 (3265) 1907、FAX 03 (6745) 3391、財団HP

<http://lpc.or.jp> からお申し込みください。

会員の集い

第4回『会員の集い』ご案内

日時: 9月25日(水)

14:00 ~

会場: 明治薬科大学 剛堂会館
(永田町駅9番a・b出口~6分
麴町駅1番出口~4分)

内容: 映画上映会【モルゲン、明日】と坂田監督のお話

参加費: 500円

皆さまのご参加をお待ちしています。



第2回『会員の集い』ご報告

4月17日(水)一番町進興ビル2階にて開催 参加者40名

①「宮川ユリ子とマハロ・フラサークル」宮川先生によるフラの実践と練習紹介。

②「さっそうクラブ」本田愛子先生の指導のもと、健康的に明るく楽しくをモットーに立ち方、歩き方の実践。



③福井みどり先生より、5月から始まった「患者ボランティア」活動のご案内。

第3回は6月19日(水) 終了。

第4回SSA親睦バスツアー2019 「日野原先生 縁の地を訪ねて」

五月二十七日午前七時。大型バスにて新宿を出発。

塩尻で高知組と合流し、三十二名で松本城を散策後、

「新老人の会」信州・世話人代表の橋本京子さんの案内で「いのちと平和の森」へ。ここは、二〇〇六年四月

月信州支部三周年記念講演会で日野原先生が話された

「自分が生きた証を木に託し、森づくりを通して、いのちの尊さと平和の大切さを子どもたちに伝えてゆく」という構想が、信州支部の皆様により実現した場所。二〇〇七年四月に日野原先生がお手植えされた「大山桜」は先生の命とともに

に朽ちましたが、同年年新しく植えられた「大山桜」

が大切に育てられています。

翌日は、もうひとつの目的地、「しかえししないよ」など三冊の

絵本を共著された故いわさきちひろさんの「安曇野ちひろ美術館」。

ご長男・松本猛さん(当美術館顧問)が映像を使いながら、

日野原先生(当時九十九歳)との対談の様子、子どもを愛し、

いのちと平和の大切さを願いながら絵を描き続けたお母様のお話など、四十分になたってお話

してくださいました。(五百木幸子)



※SSAは日野原先生が提唱され立ち上げられた、facebookでの「新老人の会」限定サイトによる交流会。詳細は「新老人の会」HPへ。 <https://www.shinrojin.com/>



「安曇野ちひろ美術館」にて松本猛さんを囲んで「大山桜」を囲んで賛美歌312番を



日野原重明先生の書も特別出張展されます!

令和元年度特別展 「絵のみち・祈りのこころ -日本画家 後藤純男の全貌-」

奈良県の長谷寺、東京都の高幡不動尊に奉納した襖絵を含む、初期から晩年までの作品約60点余と、スケッチや写真など関係資料で構成し、後藤純男の画業を過去最大規模で紹介。さらに、後藤と生前交流のあった日野原重明先生の書約5点を特別出張展します。2人の文化人の力強い交感を感じていただければ幸いです。

■会期: 令和元年11月2日(土) ~ 令和2年1月19日(日)

■会場: 千葉県立美術館 第1・2・3・8展示室 詳細は、会報誌10月号のチラシをどうぞ



「新老人の会」東京 では会員募集中!

年会費

個人・家族会員 5,000円

賛助会員 (一口) 10,000円